

国道13号『神宮寺バイパス』バイパス区間全線開通の効果

～ 沿線住民も多くの効果を実感 ～

平成22年11月3日(水)に国道13号神宮寺バイパスのバイパス区間(7.2km)が全線開通しました。

バイパス区間全線開通1年後の整備効果についてお知らせします。

◆主な整備効果

- 現国道13号の大型車交通量が約9割減少し、約8割の方が安全性の向上を実感
開通前 2,870台/12h ⇒ 開通後 250台/12h
- 冬期の通過時間が約6分短縮し、約8割の方が時間のゆとりを実感
開通前 19分 ⇒ 開通後 13分
- 主要渋滞交差点の混雑が解消し、約8割の方が効果を実感
- 沿線住民の約7割の方が、現国道13号の騒音低減を実感

※ 詳細については別添を参照してください。

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社湯沢支局・大曲支局、秋田建設新報社、
秋田建設工業新聞、建設新聞社、秋田民報、秋田県南日々新聞

【お問い合わせ先】 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

TEL 0183-73-5559 FAX 0183-72-2488

副所長(技術) さとう 佐藤 としみ 利美 (内線205)

調査第二課長 すずき 鈴木 けいきち 恵吉 (内線451)

整備効果の内容については、湯沢河川国道事務所HPにてご覧いただけます。

開通1年後

一般国道13号

別添資料

神宮寺バイパスが開通して

(平成22年11月3日バイパス区間全線開通)

①沿線住民の約8割が安全性向上を実感

②冬期通過時間が約6分短縮し利便性向上を実感



▼バイパス区間全線開通前の現国道13号

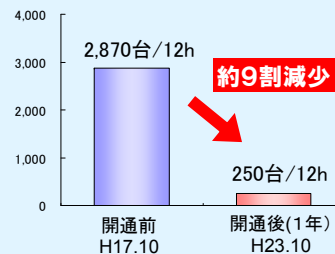


▼バイパス区間全線開通1年後の現国道13号

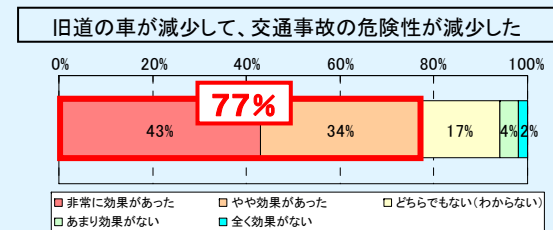


開通1年後の神宮寺バイパス

○現国道13号の大型車交通量が約9割減少



○沿線住民の約8割の方が現国道13号の安全性向上を実感

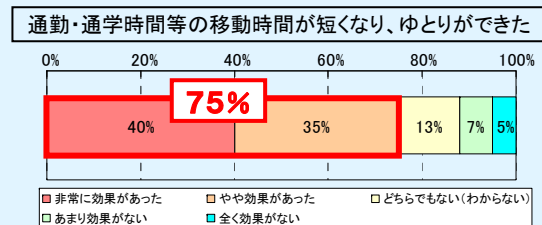


○バイパスの利用で冬期の通過時間が約6分短縮

(高花交差点⇒玉川橋北交差点)



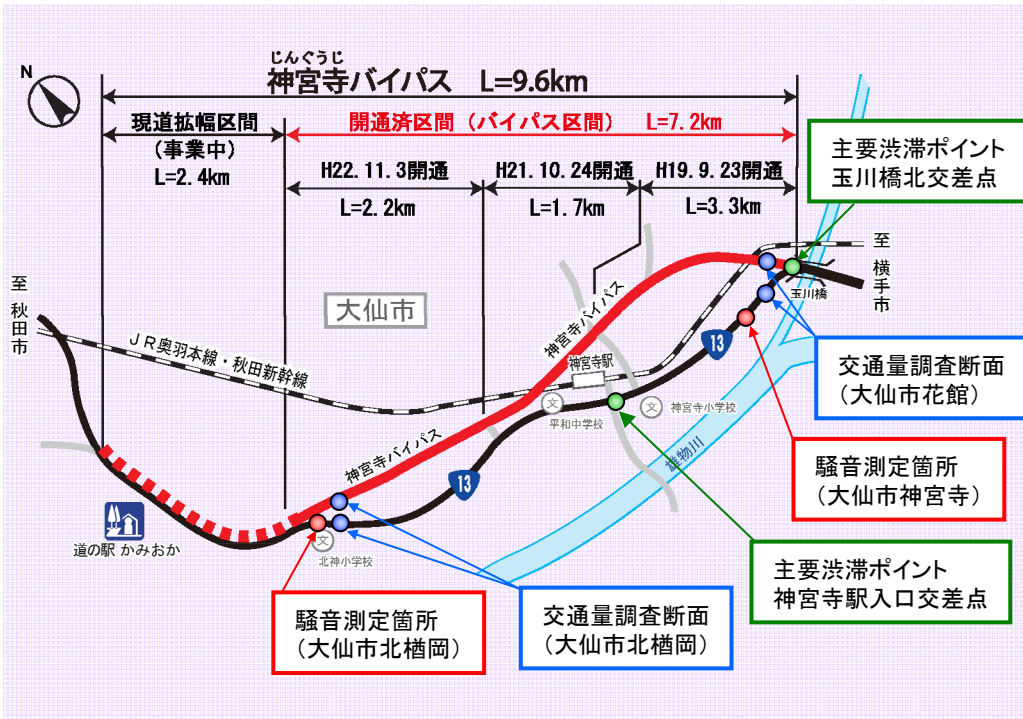
○沿線住民の約8割の方が時間のゆとりを実感



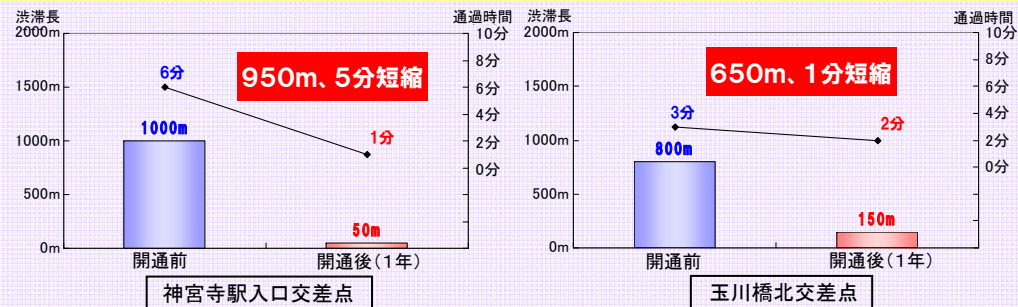
【調査日】開通前:H18.1、開通後:H23.1

【出典】沿線住民アンケートより(回答数N=678人)

- ・事業期間 : 平成10年度～事業中
- ・延長 : 9.6km(うちバイパス区間7.2km開通済)
- ・幅員 : 14.5m(暫定2車線)

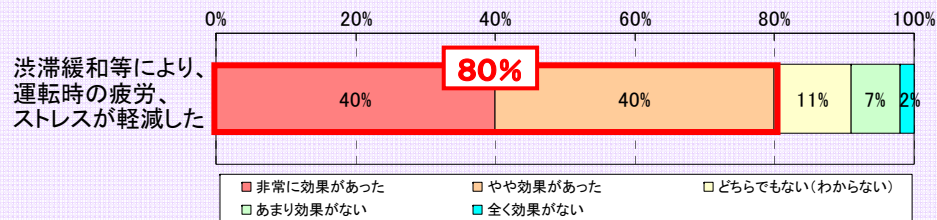


交通の転換により、主要渋滞交差点の混雑が解消



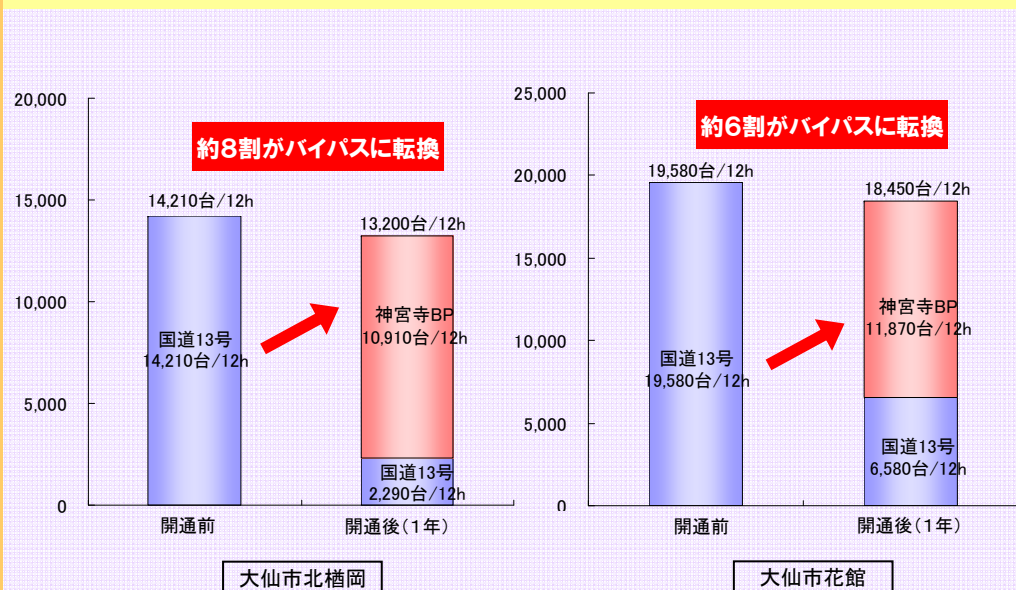
【調査日】開通前:H14.11、開通後(1年):H23.10 【調査時間】ピーク時の7~9時

沿線住民の約8割が渋滞緩和効果を実感



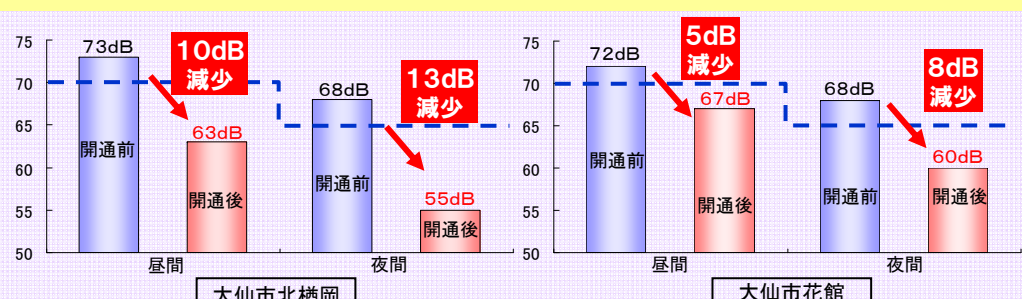
【出典】沿線住民アンケートより(回答数N=678人)

現国道13号の交通の約6~8割がバイパスに転換



【調査日】開通前:H17.10、開通後(1年):H23.10

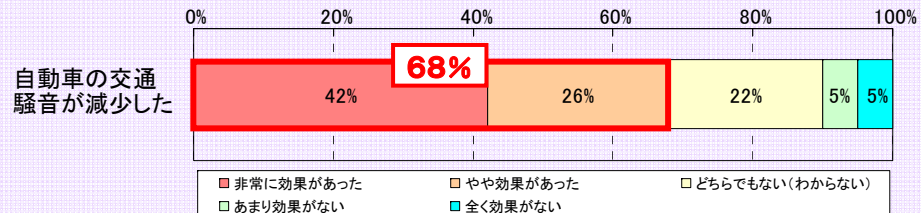
現国道13号の騒音値が5dB~13dB減少



--- 環境基準値(昼間70dB、夜間65dB)

【調査日】開通前:H17.11、開通後:H23.10

沿線住民の約7割が騒音低減を実感



【出典】沿線住民アンケートより(回答数N=678人)